

授業科目名(英文名)	環境情報科学特論A (Environmental Information Science A)
担当者名	坂井 美穂
学年	1
教科書	講義時にプリント配布
目的または到達目標	本講義では、環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書を用い、環境情報を切り口に環境問題の各領域における問題発見および解決手法について習熟することを目的とする。環境問題を理解するには、環境問題全般への関心が必要不可欠であるため、日々の環境問題に関するニュースについても解説を行う。 環境情報科学特論 A では環境問題と公害問題について講義を行う。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回～第4回 環境情報科学とは何か 現代は、「環境と情報」の時代であり、環境問題を論じるには、複眼的な視点・複合的な思考を持つ必要がある。4回の講義で、環境問題を論じるために必要な環境情報科学とは何か、環境の特徴と考え方について学ぶ。 ・第5回・第6回 地域環境と地球環境 地域環境として大分県の環境やそこで起こっている問題点について学び、地球環境との比較を行う。 ・第7回～第10回 公害問題と環境問題 公害問題は、社会的な災害であり、一方、環境問題は、生活の中で引き起こされた災害であると言える。環境基本法や公害問題の過去の事例をひもとき、公害問題とは何か、環境問題とは何か比較し、相違点について考察を行う。 ・第11回～第14回 環境問題へのアプローチ 環境問題のアプローチには様々なアプローチの方法があるが、様々な企業が行っている環境負荷低減への技術について紹介を行うとともに、企業の環境マネジメント活動についても紹介を行う。 ・第15回 総合レポート 第1回～第14回までの講義やディスカッションを踏まえた総合レポートを課す。
関連科目	環境情報科学特論 B
受講心得	日常から環境問題や情報の取り扱いについて興味を持つようにしてください。
課題・質問等の受付方法	随時受付 メール(sakaimh@nbu.ac.jp)でも可
授業の形式	講義形式(演習あり)
履修上の注意または履修条件	とくにありません。
成績評価の方法	出席および課題提出にて評価します。
参考文献及び指定図書	講義時に提示します。